

ちがいをゆたかさ

わたし まち す しみん
～私たちもこの町に住む市民です～

だいさんごう
第3号

はっこう
発行
ざいじゅうがいこくじんきょうせいしみん かい
在住外国人共生市民の会
〒694-0223
おおたしさんべつちよういけだ
大田市三瓶町池田3268-3
だいひょう おおた あさお
代表 太田 明夫

コロナで

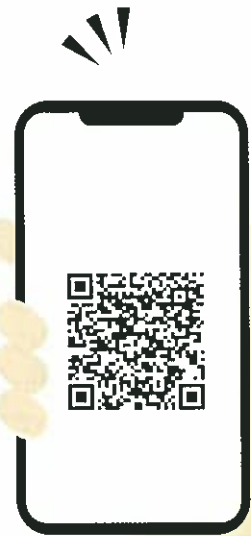
こま そうだん
困ったら相談
してください



ひつよう かた ひつよう じょうほう とど
～必要な方へ必要な情報をお届けするために～

おおだししゃかいふくしきょうぎかい がいこくじん
大田市社会福祉協議会さんが、外国人の
ための生活相談をはじめられました。
ざいじゅうがいこくじんきょうせいしみん かい きょうりやく
在住外国人共生市民の会も協力しています。

おおだししゃかいふくしきょうぎかい か けいざいてき ふあん せいかつ
大田市社会福祉協議会では、コロナ禍での経済的な不安や生活へのサポート
など、さまざまな相談をお受けしています。今年2月からは、感染者等の生活
サポートとして買い物代行をスタートしました。
せいかつかだい かか ふあん ひび す かたがた こりつか しえん とど
生活課題を抱えながら不安な日々を過ごす方々の孤立化や、支援が届きにく
い状況を少しでも良くしていくため、SNSやホームページなどを活用して
じょうほう はっしん おこな
情報の発信を行っています。



しゃしんひだり もと にほんごばん しゃしんみぎ しゃきょう つく か にほんご ばん
(写真左：元の日本語版。写真右：社協スタッフが作り変えた「やさしい日本語」版)

※ 英語、ポルトガル語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、ヴェトナム語、インドネシア語など、
多くの外国語によるお知らせも作っています!!

「しゃきょう」という、にほんごをおぼえましょう!

わたし ねが
「私の願い」

おおだしりつだいさんちゅうがっこうさんねん
大田市立第三中学校3年

たけしま せれな
竹島 世麗奈

ウォファイジチダオシアチダ
「我会一直祈祷下去的」

「（韓国語）」

今、私が話したのは「私はいつまでも願っています。」という意味の中国語と韓国語です。

私は、日本人と中国人のハーフです。そのため、「日中関係」について、幼いときから意識してきました。ニュースに中国が悪くされるといやな気持ちになります。インターネットを使い始めてからは、ますます嫌な言葉に触れる機会が増えました。何げない日常風景の動画でさえも、決めつけや偏見の書き込みを目にします。

さらに、一昨年からは、新型コロナウイルスが中国武漢市から広まり、世界的な混乱を引き起こしています。このことで、中国を責める言葉も目にします。

私の通う中学校でも、中国やコロナウイルスが話題になったとき、「自分には、半分中国人の血が流れているから、自分のことを言われていくみたい。」と、息苦しくなり、心臓がきゅうつと縮まるような感覚がします。また、歴史に関することでは、現在の中国ではないと理解していても、そう感じることもあります。私に限らず、外国にルーツを持つ人の多くが、同じような体験をしているのではないのでしょうか。

このような問題は、日本と韓国の間にも存在します。

私は、韓国の音楽やアイドルが大好きで、韓国についてよく調べます。その中で目にする、韓国人に対する中傷。人が亡くなった痛ましい事故に対しても、不謹慎なコメントがあつて、「ありえない」と腹が立ちます。

嫌いだから、と、それを公の場で表現してもよいのでしょうか。「好き・嫌い」自分の立場を明確にするのは大事です。でもそれが相手を傷つけていい理由にはならないはず。それに、ある国について考える際に、一部の情報だけで判断するのは間違いです。

例えば、メディアが取り上げる中国の情報は、注目を集めやすい過激な一面が多いです。しかし、私の知る、中国に住んでいる人達は、みんな、とてもいい人達です。

小学生の頃、夏休みは、毎年中国の、母の実家に帰省していました。向こうにいるいとこと、買い物やプールに行ったり、映画を観たり、私は中国語が理解できませんでしたが、楽しかったです。町にいる知らない人達も、私に明るく話しかけてくれました。

日本から、テレビ電話で、中国にいる親戚や友達と話すこともあります。言葉は通じませんが、「せれな、おはよう。」と、身振り手振りでコミュニケーションをとっています。

また、皆さんに聞いてほしい言葉があります。

「（韓国語）」

これは、私の好きな韓国の曲の歌詞です。意味は、「大丈夫って言わないで、大丈夫じゃないんだから。」若者の不安や寂しさに寄り添う歌詞で、日本人の私達にも共感できます。こうした曲に、世界中のファンが感動する姿を見ると、心は同じだな、と感じます。

特定の国に対して、「嫌い」という感情や、固定概念に縛られず、実際に現地を訪れたり、その国について調べたりすれば、いいところが見えてくるはず。私は、これからの人生で、中国や韓国に対して、差別意識を持っている人に出会ったとき、「こんないいところもあるよ」と説得して、少しでもその人の見方を変えたいと思っています。特に、これからの社会を担う、私と同じ世代に伝えていきたい。そのために、まずは私自身が、見た目や国などで差別をしない人間になりたい、そう思います。

近年、「多様性」「国際化」といった言葉が盛んに使われています。国や言語が違っても、音楽やアニメ、スポーツなど、同じものを楽しみ、感動できる、同じ人間。私は、日本も中国も韓国も、その他の国も、傷つけ、罵り合うのではなく、協力し、仲良くなってほしい。

ウォファイジチダオシアチダ
「我会一直祈祷下去的」

「（韓国語）」

私は、いつまでも願っています。



「ひとりひとりをまもること」

～『けんり』(Human Rights)をまもる～

2021年8月、はまだし(浜田市)で、ヴェトナムからきたぎのうじっしゅうせい(技能実習生)のおんなのひとが、けいさつ(警察)につかまりました。ざいりゅうカード(Residence card※1)をもっていなかったからということでした。▼つかまるといっただけでもたいへんなことなのに、しんぶんになまえもだされてしまいました。なにもわるいことをしていないのにカードをもっていないといっただけのりゅうです。▼これはきびしすぎる! そうかんがえて、わたしたちはけいさつとしんぶんしゃ(新聞社)、しまねこくさいセンターにてがみをかきました。▼けいさつは「これからなまえをだすことはかえられない」といいましたが、これからはがいこくからきたひとがあんしんできるしまねにするために、ちからをあわせようとこたえてくれました。しまねこくさいセンターともたいせつなもんだいとたしかめあいました。でも、しんぶんしゃからはへんじがありません。とてもざんねんです。ぎのうじっしゅうせいは、こんなことがあるとしまねではたらけなくなることもあります。かのじょをまもってほしい。そうおねがいはしたのに、なにもこたえてくれませんでした。▼メディア(Media)には、ここにくらすひとのけんりをまもる、たいせつなちからになってほしいのにかなしいことです。しんぶんしゃにこそかんがえてほしいです。▼わたしたちは、こんどはにほんしんぶんきょうかい(日本新聞協会※2)という日本のたくさんのしんぶんしゃがはなしあうかいにてがみをかきます。▼なまえをまもることはわたしたちだれもがたいせつにしなければいけません。▼日本には、これまでたくさんの「えんざい(冤罪)※3」(わるいことをしていないのにつかまえられる)がありました。いまでもあります。だから、みんなで「けんり」についてかんがえます。(かいたひと・みじんこ)

- ※1 在留外国人には、この「在留カード」の常時携帯が義務付けられています。まったく同じではありませんが、自動車等の運転に「免許証」を携帯しなければならないのに似ています。しかし、これを持っていなかったから「逮捕」は、あまりに不当です。
- ※2 日本新聞協会は、3月10日、実名報道に関する疑問や報道側の考えを一問一答形式でまとめた「実名報道に関する考え方」を協会のウェブサイトで公表しました。これは、主として、「犯罪被害者」に関するものです。
- ※3 国内における「冤罪」事件には、マスコミの報道の在り方にも問題が多くありました。「逮捕即実名報道」には、大きな問題が潜んでいます。
- ※4 技能実習生制度そのものにも、「ウソやごまかしはやめて、まっとうな労働者受入れ制度を」との訴えが、関係者の間からあがっています。

速報! 出雲市職員採用試験で国籍条項撤廃!!

ニューズレター発行の直前、出雲市が2022年度に行う職員採用試験で国籍条項を撤廃するとのニュースが流れました。

これはすばらしい! 外国にルーツを持つ市民に新しい道が開けます。
つぎはぜひ、大田市でも!!





「外国にルーツのある子どもの学習会」について



外国にルーツのある子どもは、日常生活では不自由しない日本語力があっても、「問題文の意味をつかむ」、「国語や社会科の用語等の意味がわかる。」など、学習言語の習得に苦労している状況があります。そこで、在住外国人共生市民の会では、昨年度より小学校4年生以上の子どもを対象に、おおだふれあい会館で月2回、教科の学習会を行っています。その場には市民の会のメンバーに加え、大田市の「子どもと大人の交流の場づくり事業」を活用し学習支援者を派遣してもらっています。

2年前までは、夏休みに宿題の支援と交流活動を行っていました。しかし、「夏休み以外で、勉強ができる場があれば参加したい。」という子どもたちの声を受けて、1年間を通して実施することにしました。募集は、市民の会のメンバーが知り合いの子どもや保護者さんを誘う方法で行っており、今年度は小学生2名、中学生2名が参加してくれました。

また、時には、日本の教育・入試制度、奨学金などについて、子どもや保護者の方に説明したり保護者の悩みや要望を学校に伝えたりしてきました。

2022年度も実施する予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



大田日本語サークル こだま 代表 平田節子

こだまは大田市に住む外国人のための日本語学習の場所です。今は土曜日に外国にルーツのある子どもたちの学習や体験の場所でもあります。土、日を中心に教室をやっていますが、学習者は、出雲村田製作所イワミ工場で働く日系ブラジル人、ベトナムやフィリピン等の技能実習生や特定技能

の人、日本人の配偶者たちです。みんな忙しい生活の中で頑張って教室に来ています。日本語を勉強するのは大変です。しかし日本語が自由に使えることで生活は変わります。

コロナ禍で日常は変わりました。楽しいイベントもできず、一時は教室も休みに。実習生は帰国もできず来日も中止。今、行き来は少しずつ動き出していますが、まだまだストレスの多い日々だと思えます。

市民の皆さんと、せっかく大田市にやって来た外国人の皆さん、ともに暮らす仲間として助け合いながら、だれもが住みやすい町ができることを願っています。



活動を支援してください

募集会員は次のとおりです。

賛助会員 (会費 1,000円/年)

寄付会員 (1,000円以上いくらでも/いつでも)

- 特典は
1. 会の行事等に参加できます。
 2. ニュースレター等の情報を受け取れます。

口座は、郵便振替口座 01300-9-110323

ゆうちょ総合口座 15300-16606501

ご参加いただける方は「在住外国人共生市民の会」⇒にご連絡ください。

在住外国人共生市民の会

〒694-0223 大田市三瓶町池田3268-3

太田 明夫

困ったときはこちらへ

TEL・FAX 0854-83-2183
携 帯 090-4899-1658

E-mail tomoni-ikiru-ohda@home.nifty.jp

